

平成20年岩手宮城内陸地震

土木学会・地盤工学会・日本地震工学会・日本地すべり学会

合同調査団 速報会 まとめ



2008/6/20 土木学会講堂

1

地震の特徴(学術的視点)

- 火山帯山地で発生したM7級地震
- 震源直上で過去最高の強震動記録
- 逆断層上盤側の沢部斜面の崩壊
- 震源域での巨大地すべり
- 地震による土石流災害(駒の湯)
- 天然ダム(河道閉塞)
- 建物, 構造物の震動による被害は少ない
- 斜面崩壊には様々な形態

2008/6/20 土木学会講堂

2

独り言

- 翌日早朝から現地へ 踏査中心 携帯圏外
- 思ったより, 余震が多い
- 直後の危険度の判断が難しい
- 学会と行政の災害協定の実効性
- 学術調査のモラル
- 地盤災害は長期化する
- 1枚の写真で言えることは限られている

2008/6/20 土木学会講堂

3

今後の学会活動

- 個別の被害要因の解明
- 復旧への技術支援
- 災害調査報告書の作成
- 被害軽減のための提言

2008/6/20 土木学会講堂

4